

令和6(2024)年度 学校評価アンケート総括表（令和6(2024)年12月実施）

栃木県立今市高等学校

1 (1) 学校評価結果

1 (1) 学校評価結果					令和6年度			
	確認項目	確認事項	対象	番号	質問項目	事項別指数	事項別評価	学校評価結果について
1	進路の実現	常に授業改善を図り、進路目標を達成できる学力を育成する。	生	1	本校では、指導法が工夫された分かりやすい授業が実施されている。	2.76	B	1 進路の実現 進路目標の達成のための学力育成に関して、学校評価全ての項目を通して全体指数(2.77)ならびに生徒(2.76)、保護者(2.60)の評価が最も低い項目であるため、指導改善を図る必要である。 進路情報並びに進路実現に向けた学習の機会の提供に関しては、生徒や保護者と評価に差がある。教職員が描く進路指導の実現こそ、生徒や保護者の進路指導に対する満足度を高め、進路希望達成率の向上が期待できることから、教職員の叡智を結集し、進路指導の改善・充実に取り組んでいく。
			保	1	本校では、指導法が工夫されたわかりやすい授業が実施されている。	2.60	B	
			教	1	私は、指導法を工夫しわかりやすい授業を実施している。	2.96	B	
			生	2	本校は、進路選択に関して必要な情報が生徒に提供している。	3.87	A	
		生徒の想いを大切に、必要な進路情報を十分に提供することで、適切な進路選択ができるよう、個別最適な進路指導を行う。	教	2	本校は、進路選択に関して必要な情報を生徒に提供している。	2.78	B	
			生	3	本校は、進路実現に向けた様々な学習の機会を設定し、適切に進路指導を行っている。	4.00	A	
			保	2	本校は、進路実現に向けた様々な学習の機会を設定し、適切に進路指導を行っている。	3.34	A	
			教	3	本校は、進路実現に向けた学習の機会を効果的に設定し、適切に進路指導を行っている。	2.87	B	
2	ルールの遵守・マナーの向上	自己管理能力や自律心を高めるため、生徒がルールやマナーの必要性を理解し、適切に判断して行動できるようにする。	生	4	私は、ルールやマナーの必要性を理解し、社会や学校の規則を守っている。	4.56	A	2 ルールの遵守・マナーの向上 ルールやマナーに関して、教職員による指導状況の評価は低いが生徒の自己評価は大変高い結果であった。この意識の違いに十分留意した指導の工夫が求められる。 相手を思いやり認め合うことに関して、生徒、保護者、教職員全てで「A」評価であった。特に生徒は全項目のうち最も高い評価を示している。今後もこの評価が維持できるよう、生徒が互いに認め合いながらより良い学校生活を送ろうとする雰囲気や醸成したい。 教育相談に関して、保護者と教職員の評価に差があることは留意すべき点である。指導の状況を振り返るとともに、保護者と協働した生徒指導の在り方について確認し、格差を解消したい。
			保	3	お子さんは、ルールやマナーの必要性を理解し、適切に判断し行動している。	3.82	A	
			教	4	本校は、生徒がルールやマナーの必要性を理解し、適切に判断し行動できるよう粘り強く指導している。	2.70	B	
			生	5	私は、人々を思う心を大切にし、お互いの個性を認め合いながら学校生活を送っている。	4.70	A	
		居心地の良い環境作りを目指し、人々を思いやりお互いの個性を認め合う雰囲気や教育活動全体を通して醸成する。	保	4	お子さんには、学校生活をおとして、人々を思う心やお互いの個性を認め合う姿勢が身に付いていると感じる。	3.66	A	
			教	5	本校は、人々を思う心やお互いの個性を認め合う雰囲気を醸成するための取組を学校全体で行っている。	3.22	A	
			生	6	本校の先生は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれる。	3.75	A	
			保	5	本校は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応している。	2.90	B	
3	主体性の伸長	学習・生活の両面にわたって、目標を立て、それに挑戦し、試行錯誤を重ねながら、達成体験を重視する。	教	6	本校は、生徒の悩み等にかつ組織的に対応している。	4.00	A	3 主体性の向上 目標設定と粘り強い取り組みに関して、教職員の生徒の成長を促すための場面の設定に関して「B」評価であった。生徒の自己決定」の場面を多く設け、各取り組みの評価を向上させることを意識した教育活動を充実させたい。 主体性を身に着け前に踏み出す力を育む取り組みに関して、教職員と生徒、保護者の評価にやや差が見られた。様々な取り組みにおいて、生徒に役割と責任を与え、生徒が成長を実感できるまで粘り強く指導することが望まれる。
			生	7	私は、様々な場面で目標を立てて、その達成に向けて粘り強く取り組んでいる。	2.95	B	
			保	6	お子さんは、様々な場面で目標を立てて、その達成に向けて粘り強く取り組んでいる。	2.98	B	
			教	7	私は、生徒の成長を促すため、生徒が試行錯誤を重ねながら粘り強く物事に取り組む場面を多く設定している。	2.87	B	
		指示を待つのではなく、自らやることを見つけて積極的に取り組むような教育活動を目より実践することで前に踏み出す力を養う。	生	8	私は、学校生活全般において、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組んでいる。	3.06	A	
			保	7	お子さんには、高校生活をとおして、主体性や積極性が身に付いていると感じる。	2.64	B	
			教	8	私は、生徒の一歩踏み出す勇気を育むよう、自らやるべきことを見つけて主体的に取り組めるような指導や言葉かけを行っている。	3.57	A	

指数と評価について

◆指数の計算方法（次の数値の合計）
「そう思う％」×（±6）
「ややそう思う％」×（±2）
「あまり思わない％」×（－2）
「思わない％」×（－6）

◆評価の目安（次の基準に従い評価）
「3」以上：A 非常によい
「3～2」：B よい
「2～1」：C まあよい
「1～0」：D あまりよくない
「0」以下：E よくない

3 学校評価委員会における意見

【進路の実現】 共通テストは難しい。試行錯誤しながら粘り強く考える力が求められているので学校で取り組んでほしい。 姿勢や、経験上保護者には進路情報が少ないと感じる。どのように情報を得たらいかがを丁寧に伝えることが大切である。 学習も進路も生徒にしっかりと目標を立てさせて、その実現に向けて努力させていくことが大切である。それを上手に導いてほしい。	【教育活動全般】 保護者は知識が不足しているので、進路ガイダンスなどに保護者も生徒と一緒に参加できるとよい。 生徒・保護者と教職員の評価のギャップは、生徒は今日の前だけを考えているのに対し、教職員は大局的に見ている。ぜひ高い目標が少しでも実現できるよう取り組んでもらいたい。 教職員の経験を、生徒・保護者にもっとアピールしていくとよい。 PTA総会は大切な場であるので、会長と協力して保護者に対し何を語るのかを検討していく。
【ルールの遵守】 校則やルールは、保護者にもしっかりと伝え、理解してもらう必要がある。PTA総会や保護者会だけでなく学校HPを活用して周知を図るとよい。	
【主体性の伸長】 主体性については、コロナなどで行事がなくなり、経験がないことなども影響しているのではないかと。生徒に自己完結する経験を意識した活動を増やしていくとよい。 入学時より伸びてきている項目は、教育の成果が現れている。	